



校長室より

湯築小学校をつくるもの

松山市立湯築小学校長 横田 美佳

夏季休業中のある日のこと、初老の男性がお一人、本校を訪ねて来られました。お話を伺うと、湯築小の卒業生だそうで、長年勤務されたお仕事をご退職後、子どもの頃過ごした松山や母校のことがとても懐かしくなり、現在お住いの北海道から来県されたとのことでした。卒業制作で、好きな言葉を陶板に書いたことを覚えておられ、今も校舎東側に残るご自身の作品を見付けて喜ばれるご様子に、こちらまでうれしい気持ちになりました。

この一年間、保護者の方や地域の方とご挨拶やお話をさせていただく機会が多くありましたが、どの方からも感じるの、「湯築小学校のことを好きでいてくださる」ということです。登下校で子どもたちの安全を見守ってくださったり、参観日や行事で一人ひとりの頑張りを応援してくださったり、湯築小サポーターとして授業の支援をしてくださったりしているお姿からは、湯築っ子への深い愛情が感じられ、その度に感謝の思いで胸がいっぱいになりました。おかげさまで、日々の授業や行事、体験活動等を通して、子どもたちは、あざやかに成長し、命を輝かせることができました。また、友達が困っていると、親切に手を差し伸べたり、相手の気持ちを想像して慰めたりしている様子をたくさん見掛けました。そのような優しさは、湯築っ子の一番の長所だと思います。保護者の皆様や地域の方々の深い愛情、子どもたちの素直な優しさが、今の湯築小学校をつくっています。いつか子どもたちが大人になっても、湯築小学校が好きな場所、また訪れたいくなるような大切な場所であり続けられるように、これからも湯築っ子の優しさを育み、つないでいきたいと思います。

今年度も、本校教育に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。どうかこれからも、学校と家庭、地域が連携を深め、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

6年生を送る会

僕は、「6年生を送る会」で司会を担当しました。全校の前で司会をするのは緊張したけれど、頑張りました。一番心に残ったのは、1年生の出し物の「6年生好きすぎて滅」です。可愛くて、6年生と全力でソーラン節を踊っていたのがすごいと思いました。6年生が楽しんでくれたのでよかったです。 5年



わくわくしながら学校に向かい、いよいよ「6年生を送る会」が始まりました。どの学年の出し物も、想像以上に楽しかったです。5年生の進行劇では、その時のことを思い出して懐かしい気持ちになりました。プレゼントでもらったメッセージを読んで、下級生が掃除の時だけでなく、普段から私たちのことを見てくれていたのだなと分かり、とても嬉しかったです。 6年

1年間の思い出

僕は、一年間で勉強を頑張りました。字を丁寧に書くことや最後までよく読むことに気を付けました。テストで100点をたくさんとれたことがとてもうれしかったです。2年生になっても頑張ります。 1年

2回目の町探検が心に残っています。僕は、写真を撮る係になりました。初めて行った場所で、いろいろなことが分かりました。1回目と2回目では、2回目の方が自分の成長を感じ、また行きたいなと思いました。 2年

運動会の団体で勝てたことが心に残っています。練習ではいつも負けていたので、クラスのみんなと特訓をしました。本番は、みこしを落とすことなく、ついに勝つことができました。スキップしたくなるほどうれしかったです。 3年

私は6年生を送る会が一番心に残っています。5年生が楽しい会になるように考えてくれたのがうれしかったです。3年生との対決が楽しかったです。 ゆめ組

僕は、運動会が一番心に残っています。理由は、2年生の時ぶりにリレー選手に選ばれたからです。最後は負けてしまったので悔しかったけれど、一生懸命頑張れたので、楽しかったという気持ちが残っています。 4年

僕の5年生での一番の思い出は、レインボーハイランドです。班のみんなでカレーライスを上手に作ることができ、おいしかったからです。他にもキャンプファイヤーでいろいろなゲームをして仲間との絆を深めることができたのでよかったです。 5年

クラスのみんなと一緒に過ごした何気ない毎日が僕の一番の思い出です。6年1組は、いつもみんなで支え合って協力できるすごいクラスです。誰かが困っていたらすぐにみんなが駆け寄って助けます。最高の仲間と最高の時間を過ごせた一年でした。みんなありがとう! 6年

今年度の学力向上のための振り返り

今年度、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査では、湯築小学校は国語・算数・理科において、県・全国平均を大きく上回る結果でした。

児童の正答率が低かった問題を分析してみると、国語・理科においては、複数の資料を読み、あてはまる内容を適切に選んだり、書いたりする問題、算数では、適切なグラフを選びわけを書く、五角形の求め方を書く、割合の問題を答えるなど、児童が日頃から苦手意識をもっている問題でした。「何が問われているかを読み取る力」「基礎・基本」を身に付けるための支援が必要であると考えました。

これらのことを受けて、授業では、学習アシスタントや学校生活支援員、地域連携実習の大学生を活用することで、児童のつまづきを把握し、個の実態に応じたきめ細かな指導や支援を行うこと、また、デジタルドリルやEILSを積極的に活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ることを大切にして取り組んできました。何に対しても意欲的に取り組む児童が多いため、少しずつ力を付けて、自信をもって学んでいる児童が増えました。これらの取組を今後も継続し、児童に学ぶ楽しさを味わわせ、一人一人の基礎学力を育んでいきたいと思います。

	平均正答率 (%)		
	国語	算数	理科
湯築小	74	70	70
愛媛県	65	58	57
全国	66.8	58.0	57.1

